

## 2級問題 共通

### 【広告物の種類及び構造】

- 318 バナーは、天井やブラケットから垂らした旗・垂れ幕・横断幕などの意味を持っている。 (24年度 真偽)
- 319 アドバルーンは、屋外広告物法の規制を受けない広告物である。 (24年度 真偽)
- 320 直射サインの光源として一般に用いられているものは、LED、ネオン管、サイン用電球などである。 (23年度 真偽)
- 321 屋外広告の電気サインは、照明方法によって次の3種に分類される。  
 (1)直射サイン (2)反射サイン (3)透過サイン (22年度 真偽)
- 322 屋外広告の種類には、広告塔、ポスター・パネル、看板などがある。 (21年度 真偽)
- 323 商標を表示した暖簾は、自家用広告物に含まれない。 (21年度 真偽)
- 324 バナーは、天井やブラケットから垂らした旗・垂れ幕・横断幕などの意味を持っている。 (20年度 真偽)
- 325 商標を表示した暖簾は、自家用広告物に含まれない。 (20年度 真偽)
- 326 屋外広告物は、形態、設置位置（場所）、材料、照明により分類されるが、シートポスター広告板は、材料の分類に属する。 (18年度 真偽)
- 327 広告板の種類とその形態、掲出場所による分類の組合せとして、誤っているものはどれか。  
 (24年度 択一)

【種類】                  【分類】

- |         |   |      |
|---------|---|------|
| イ 平型広告板 | - | 形態   |
| ロ 壁面広告板 | - | 掲出場所 |
| ハ 建植広告板 | - | 形態   |
| ニ 屋上広告板 | - | 掲出場所 |

- 328 屋上広告塔は、どの分類に属するか。 (23年度 択一)

- イ 形態による分類
- ロ 設置位置による分類
- ハ 製作材料による分類
- ニ 照明による分類

- 329 屋外広告物に含まれない広告メディアはどれか。 (22年度 択一)

- イ バナー
- ロ チラシ
- ハ 商店街入口アーチ
- ニ のれん

- 330 広告板の分類で、一つだけ違う分類のものはどれか。 (21年度 択一)

- イ 屋上広告板
- ロ 壁面広告板
- ハ 店頭広告板
- ニ 平形広告板

331 ラッピング広告として、当てはまるものはどれか。 (20年度 択一)

- イ 電柱広告
- ロ 包装紙の広告
- ハ 床面に表示する広告
- ニ 車体広告

#### 【広告物の素地の製作方法】

332 広告物の骨組みにトラスを用いるのは、軽量化と変形防止のためである。 (23年度 真偽)

333 木枠広告板面の製作において、45mm×40mmの角材の骨組みに29番(0.35mm)の亜鉛引き鉄板を張る場合、くぎの長さは45mmくらいが適切である。 (22年度 真偽)

334 広告物の骨組みにトラスを用いるのは、軽量化と変形防止のためである。 (19年度 真偽)

335 亜鉛鉄板面の塗装前処理に使用する塗布剤として、適切なものはどれか。 (24年度 択一)

- イ プライマー
- ロ サーフエーサー
- ハ ラッカーシンナー
- ニ メチルアルコール

336 コンクリートの構造物の性質に関する記述のうち、誤っているものはどれか。 (24年度 択一)

- イ 圧縮強度は強いが、引張強度は弱い。
- ロ 鞣性に優れ、亀裂が生じにくい。
- ハ 耐火性に優れている。
- ニ 空気中の二酸化炭素によって、中性化が進む。

337 シナ合板素地の広告板に、酢酸ビニルエマルションペイントで塗装する場合、素地面の釘頭の処理として、最も適切なものはどれか。 (23年度 択一)

- イ よく打ち込む。
- ロ パテ付けをする。
- ハ 切取って打ち込む
- ニ さび止め処置をする。

338 900mm×1800mmの木枠に0.4mmのカラートタンを張るのに適さないものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 接着
- ロ 釘止め
- ハ 木ねじ止め
- ニ ステップル止め

339 鉄部の素地調整(ケレン作業)に使用する工具として、適切でないものはどれか。 (19年度 択一)

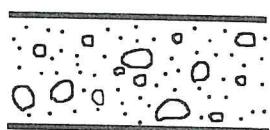
- イ ディスクサンダー
- ロ ハンドブレーカ
- ハ ハンマ
- ニ スクレーパ

## 【広告物の製作図の作成方法】

- 340 日本工業規格（JIS）の建築製図通則によれば、下図は、寸法線の両端の表示例として正しい。 (24年度 真偽)



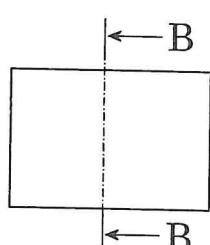
- 341 日本工業規格（JIS）の建築製図通則によれば、下図はコンクリート及び鉄筋コンクリートを表す材料構造表示記号である。 (23年度 真偽)



- 342 透視図では、直進する道路は遠く離れるほど、道路幅は狭くなり、地面と空との境で一点に集まってしまうが、これを消点という。 (22年度 真偽)

- 343 設計図では、物体の外形線と寸法線は同じ太さで書くのがよい。 (21年度 真偽)

- 344 下図は平面図を示すが、B-Bは切断箇所を表示している。 (20年度 真偽)

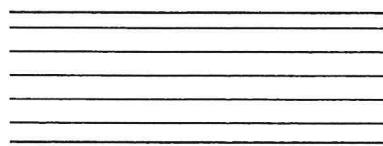


- 345 日本工業規格（JIS）によれば、下図の細い破線は、主にかくれ線として使用する。 (19年度 真偽)



- 346 日本工業規格（JIS）によると、SUS HLの記号は、ステンレス鏡面のことである。 (19年度 真偽)

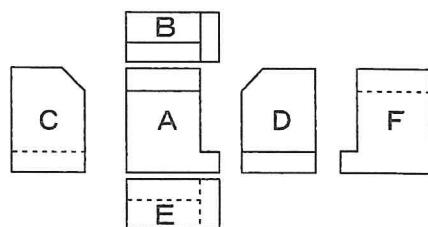
- 347 日本工業規格（JIS）の建築製図通則によれば、下図は、普通ブロック壁の材料構造表示記号である。（18年度 真偽）



- 348 建築関係資料のうち、設計図に含まれないものはどれか。（24年度 択一）

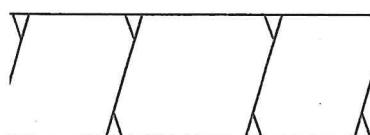
- イ 構造図
- ロ 配置図
- ハ 仕様図
- ニ 原寸図

- 349 日本工業規格（JIS）によれば、第三角法の図の位置を説明する下図のA・B・Cに当てはまる次の組合せのうち、正しいものはどれか。（24年度 択一）



- |   | A   | B    | C    |
|---|-----|------|------|
| イ | 平面図 | 右側面図 | 左側面図 |
| ロ | 平面図 | 正面図  | 右側面図 |
| ハ | 正面図 | 平面図  | 右側面図 |
| ニ | 正面図 | 平面図  | 左側面図 |

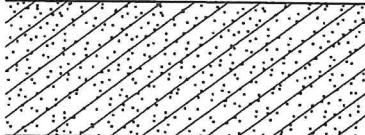
- 350 日本工業規格（JIS）の建築製図通則によれば、下図に示す材料構造表示記号として、正しいものはどれか。（23年度 択一）



- イ 地盤
- ロ 砂・砂利
- ハ 割栗
- ニ コンクリート

- 351 寸法に関する用語に尺度、現尺（原寸）、倍尺（倍寸）、縮尺などがあるが、尺度とはどれか。（22年度 択一）

- イ 対象物の大きさや長さより、小さい大きさや長さで表す図形をいう。
- ロ 対象物の大きさや長さと、同じ大きさや長さで表す図形をいう。
- ハ 対象物の大きさや長さより、大きい大きさや長さで表す図形をいう。
- ニ 対象物の大きさや長さと、図形の大きさや長さとの割合をいう。

- 352 図面上の材料を示す記号と意味の組合せとして、誤っているものはどれか。 (21年度 択一)
- イ AB 石膏ボード
  - ロ AL アルミニウム
  - ハ CB コンクリートブロック
  - ニ LGS 軽量形鋼
- 353 文中の( )に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
- 日本工業規格 (JIS) によれば、製図に用いる文字は、( )、均一であり、マイクロフィルム撮影及び他の写真複写に適していることが必要である。 (20年度 択一)
- イ 明朝系の文字を使用し
  - ロ 読みやすく
  - ハ 略字化し
  - ニ 第一水準漢字を使用し
- 354 日本工業規格 (JIS) によれば、線の種類とその用途の組合せとして、誤っているものはどれか。 (19年度 択一)
- イ 細い破線 引き出し線として使用する。
  - ロ 細い実線 寸法線として使用する。
  - ハ 細い一点鎖線 中心線として使用する。
  - ニ 太い実線 外形線として使用する。
- 355 日本工業規格 (JIS) の建築製図通則によれば、下図に示す材料構造表示記号として、正しいものはどれか。 (18年度 択一)
- 
- イ ブロック壁
  - ロ 石材又ははぎ石
  - ハ 左官仕上
  - ニ タイル又はテラコッタ
- 【広告物の取り付け方法】**
- 356 ALC(軽量発泡コンクリート)仕上げの壁面に重量広告物を取り付ける場合、アンカーボルトはALC壁面に取り付けるほうがよい。 (24年度 真偽)
- 357 基礎工事のコンクリート打込後、目安として5日間は温度が2℃以下にならないようにする等の管理が必要である。 (24年度 真偽)
- 358 塗装の塗替えが困難な箇所や海岸近くの場所に設置する広告物の鋼材には、溶融亜鉛鍍金(ドブヅケメッキ)が効果的である。 (24年度 真偽)
- 359 高力ボルト(ハイテンションボルト)のナットを締め付ける工具として、インパクター(インパクトレンチ)がある。 (23年度 真偽)
- 360 突出し広告板の振れ止めや筋かいの取付け角度は、30度くらいに取り付けるのが最もよい。 (22年度 真偽)
- 361 鉄骨支柱の基礎のベースプレート接合部に、補強のリブプレートを溶接する場合は、コーナー部にスカラップを作ると強度を弱める。 (22年度 真偽)

- 362 突き出し広告板は、クレーンで取り付けることが多いので、つり環を付けておくのがよい。 (21年度 真偽)
- 363 軽量気泡コンクリート(ALC)仕上げの壁面に重量広告物を取り付ける場合、アンカーボルトは、ALC壁面に取り付けるほうがよい。 (21年度 真偽)
- 364 拡張型アンカーは、コンクリートに圧縮力を与えるので孔の周囲にひび割れを生じることはない。 (20年度 真偽)
- 365 自立広告物でコンクリートの基礎を設ける場合は、地表と同じ高さにして景観を損なわないように配慮すべきである。 (19年度 真偽)
- 366 広告物の取付けに使用する機械・器具・仮設設備に関する組合せとして、誤っているものはどれか。 (24年度 択一)
- イ インパクトレンチ - リベット  
口 トラッククレーン - 玉掛け用ワイヤ  
ハ ハンマドリル - コンクリート  
ニ 組立式足場 - 養生用シート
- 367 建植広告板の支柱基礎の強度を増すためのものとして、適切なものはどれか。 (24年度 択一)
- イ 根ぎり  
口 置き基礎  
ハ 根がらみ  
ニ 割栗石
- 368 広告物取付け用いる接合金物と分類の組合せとして、誤っているものはどれか。 (24年度 択一)
- 【接合金物名】 【分類】  
イ 溶接用アンカー - コンクリート用金物  
口 固定型インサート - 木材用金物  
ハ ボルト - 木材用金物  
ニ 高力ボルト(ハイテンションボルト) - 金属用金物
- 369 屋上広告物の資材の玉掛け作業に関する記述として、誤っているものはどれか。 (23年度 択一)
- イ 長尺ものには「つり袋」と「かいしゃく綱」を用いる。  
口 玉掛けワイヤロープは、常に2本掛けとする。  
ハ つり角度が大きくなると、作用する張力は小さくなる。  
ニ フックは、つり荷の真上に誘導する。
- 370 足場の外側に設ける「朝顔」の設置目的として、正しいものはどれか。 (23年度 択一)
- イ 騒音防止  
口 落下物防止  
ハ 風圧防止  
ニ 水漏れ防止

371 広告物の等の取付けに使用する接合用金物の分類の組合せとして、誤っているものはどれか。 (23年度 択一)

- イ 〔金属用－リベット  
　　コンクリート用－固定型インサート  
　　木材用－くぎ
- ロ 〔金属用－フックボルト  
　　コンクリート用－ケミカル式アンカー  
　　木材用－特殊くぎ
- ハ 〔金属用－高力ボルト  
　　コンクリート用－アンカーボルト  
　　木材用－ボルト
- ニ 〔金属用－固定型インサート  
　　コンクリート用－高力ボルト  
　　木材用－溶接用アンカー

372 ステンレス製の突き出し広告板を建物の壁面に取付ける施工で、ステンレスのブラケットを使う場合、ブラケット周囲のコーティング施工法として正しいものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 建物側、広告板側ともにコーティングする。
- ロ 建物側をコーティングする。
- ハ 広告板側をコーティングする。
- ニ 後の保守点検がしやすいので、コーティングをしない。

373 広告物の取付けに使用するローリングタワーに関する記述として、正しいものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 作業中、作業者を乗せたまま移動できる。
- ロ 作業者が無理な姿勢でも作業ができる。
- ハ 脚輪のブレーキは、移動中以外は常に作動させておく。
- ニ 作業者を5名以上乗せて作業ができるので能率的である。

374 軽量発泡コンクリート(ALC)仕上げの壁面に突出広告物を取付ける際のアンカーボルトの種類として、適切なものはどれか。 (21年度 択一)

- イ 埋込アンカーボルト
- ロ 壁貫通ボルト
- ハ メカニカル後打アンカーボルト
- ニ 合成樹脂後打アンカーボルト

### 【広告物の安全に関する力学の基礎】

375 広告物を建築物に取り付ける場合は、その広告板の自重を保持できれば、風圧にも耐えることができる。 (24年度 真偽)

376 同じ面積の広告物が受ける風圧力は、形態や掲出場所が異なっても同じである。 (24年度 真偽)

377 広告物にかかる風圧は、広告物の形状や表面積に左右されない。 (23年度 真偽)

378 単独基礎の広告物は、地震や風の外力によってフーチングに浮き上がりを発生して、転倒につながることがある。 (23年度 真偽)

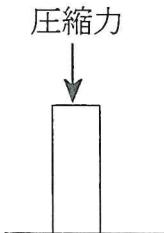
379 屋外広告物の構造計算で見込む荷重・外力には、固定荷重(自重)、積載荷重、積雪荷重、風圧力、地震力の5種がある。 (22年度 真偽)

380 広告物が受ける風圧力は、広告物の種類と設置状況により異なる。 (21年度 真偽)

381 構造部材が外力を受けたとき、その外力が単調増加していくと、ある時点で急に今までの変形様式を変える現象を「座屈」という。 (21年度 真偽)

- 382 地上10m以上の建築物の屋上広告物と外壁面に取り付けた広告物に作用する設計上の風圧力を比較すると、屋上広告物の風圧力のほうが強い。 (20年度 真偽)
- 383 風圧力及び地震力は、屋上広告物・壁面広告物・自立広告物などの広告物の種類や設置場所により異なる。 (20年度 真偽)
- 384 圧縮力を受ける部材や構造物が、圧縮力に直交する方向にふくらむ現象を「座屈」という。 (19年度 真偽)
- 385 地盤の長期許容地耐力が最も大きいものはどれか。 (22年度 択一)
- イ 関東ローム層  
ロ 岩盤  
ハ 砂質地盤  
ニ 磯層
- 386 自立広告物の基礎底面には、広告物自重、基礎自重、地震、風などが作用するが、それに耐えられる地盤のうち、最も強いものはどれか。 (22年度 択一)
- イ 密実な砂質地盤  
ロ 粘度質地盤  
ハ 密実な磯層地盤  
ニ ローム層地盤
- 387 突出しサインの取付部は、一般に、ブラケットを介して、建物外壁にアンカーボルトで緊結されるが、安全上特に影響が大きいものはどれか。 (21年度 択一)
- イ 自重  
ロ 積雪  
ハ 風圧  
ニ 降雨
- 388 文中の( )に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

構造物のたわみの座屈とは、下図のように圧縮力を受ける部材や構造物が、圧縮力に( )ふくらむ現象をいう。  
(20年度 択一)



- イ 直交する方向に  
ロ 並行する方向に  
ハ 反対する方向に  
ニ 対する同方向に

## 【材 料】

- 389 ネオン管に封入するガスは、ネオンガス又はアルゴンガスの2種類である。 (24年度 真偽)
- 390 合板にオレフィン系のシートを貼った広告面素材は、粘着シートの貼り加工や水性、油性塗料などの使用に適している。 (24年度 真偽)
- 391 コンクリート壁面に文字を書く場合は、油性調合ペイントが最も適している。 (23年度 真偽)
- 392 エナメル塗料は、油性塗料より刷毛さばきが重く、塗りにくい。 (22年度 真偽)
- 393 合成紙は、油性ペイントで書いたり、シンナーを使用して修正したりすることはできない。 (22年度 真偽)
- 394 ネオン管の発色には、ガス放電によるものと着色管によるものがある。 (21年度 真偽)
- 395 ラッカーシンナーは、一般に、塗料用シンナーより引火しやすい。 (21年度 真偽)
- 396 合板にオレフィン系のシートを貼った広告面素材は、粘着シートの貼り加工や水性、油性塗料などの使用に適している。 (21年度 真偽)
- 397 フタル酸塗料(樹脂エナメル)は、吹き付け塗装に使用できない。 (20年度 真偽)
- 398 F Fシートの汚れは、シンナーで拭くとよい。 (20年度 真偽)
- 399 箱文字の内照光源として、LEDは細かい文字にも使用できる利点がある。 (19年度 真偽)
- 400 フレキシブルフェイスの汚れは、シンナーで拭くとよい。 (18年度 真偽)
- 401 硬質塩化ビニル低発泡板(PVCシート)には、下孔をあけなくても直接釘打ちやネジ止めができる。 (18年度 真偽)
- 402 トランクのボディーに使用されているアルミ製の波型板の名称はどれか。 (24年度 択一)  
イ フラット板  
ロ 四凸板  
ハ ウエーブ板  
ニ コルゲート板
- 403 合成樹脂塗料に用いる塗料用シンナーの成分に含まれていないものはどれか。 (24年度 択一)  
イ キシロール  
ロ テレビン油  
ハ ミネラルスピリット  
ニ プライマー
- 404 次のプラスチックのうち、熱可塑性でないものはどれか。 (23年度 択一)  
イ シリコン樹脂  
ロ ポリエチレン樹脂  
ハ 塩化ビニル樹脂  
ニ アクリル樹脂
- 405 鉄板に直に塗装し、長期間屋外に掲示する広告板を製作する場合に使用する塗料で、適切でないものはどれか。 (23年度 択一)  
イ 合成樹脂塗料  
ロ ラッカーコーティング  
ハ 油性塗料  
ニ 酢酸ビニルエマルジョン塗料

406 次の色のうち顔料のウルトラマリンブルーはどれか。 (23年度 択一)

- イ 紺青色
- ロ 新橋色
- ハ 群青色
- ニ 藍色

407 透過サインで最も多く使われている光源は、次のどれか。 (22年度 択一)

- イ 白熱電球
- ロ 水銀灯
- ハ 蛍光灯
- ニ ネオン管灯

408 屋外用粘着シートの裏面が銀色や灰色をしているものがあるが、この理由として当てはまるものはどれか。 (22年度 択一)

- イ フィルム強度を増すため
- ロ のりの硬化を防ぐため
- ハ 接着強度を増すため
- ニ 下地色のすけを防ぐため

409 最も多くの使用される粘着シートの材質は、次のどれか。 (21年度 択一)

- イ ポリエスチル
- ロ 塩化ビニル
- ハ レーヨン
- ニ ナイロン

410 合成樹脂塗料のシンナーはどれか。 (21年度 択一)

- イ ウッドシーラー
- ロ ゴールドサイズ
- ハ ミネラルスピリット
- ニ プライマー

411 主なプラスチックの性質と用途に関する記述のうち、誤っているものはどれか。 (20年度 択一)

- イ 塩化ビニル樹脂は耐候性があり、管・タイルなどに用いられている。
- ロ アクリル樹脂は、耐熱性があり、照明器具などに用いられる。
- ハ シリコン樹脂は、電気絶縁性があり、耐熱材などに用いられる。
- ニ エポキシ樹脂は、耐熱性があり、接着剤・塗料などに用いられる。

412 F R P樹脂板の優れた特徴として、適切でないものはどれか。 (20年度 択一)

- イ 耐衝撃性
- ロ 耐熱性
- ハ 耐寒性
- ニ 耐腐食性

413 筆文字書きに適さない塗料はどれか。 (19年度 択一)

- イ 油性ペイント
- ロ ラッカー・エナメル
- ハ 合成樹脂エマルジョンペイント
- ニ 合成樹脂調合ペイント

- 414 塩化ビニル系プラスチックの性質に関する記述として、誤っているものはどれか。 (19年度 択一)
- イ 光沢がにぶい。  
ロ 柔軟性がある。  
ハ バフ研磨によって光沢ができる。  
ニ 傷がつきやすい。

- 415 ウルトラマリンブルーと呼ばれる顔料はどれか。 (18年度 択一)
- イ 群青  
ロ 緑青  
ハ 紺青  
ニ 青紫

### 【機械器工具】

- 416 コンピュータ・カッティングマシンでは、コンピュータで入力した大きさでしか出力(カッティング)できない。 (23年度 真偽)
- 417 インパクトレンチ(インパクター)の用途はどれか。 (20年度 択一)
- イ ボルトの切断  
ロ パンチ穿孔(せんこう)  
ハ ボルト、ナットの締めつけ  
ニ ボルトのねじ切り

### 【コミュニケーションとデザイン】

- 418 広告媒体は、広告メッセージをその受け手に伝達する手段である。 (24年度 真偽)
- 419 コミュニケーションとは、言語・文字・身振りなどを媒体として、視覚・聴覚・その他の五感に訴えるものである。 (23年度 真偽)
- 420 広告媒体は、広告メッセージをその受け手に伝達する手段である。 (21年度 真偽)
- 421 文中の( )内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
- 屋外広告でコミュニケーションを図る場合、情報の送り手は強い訴求力を期待することが多い。しかし、その広告物が( )とのバランスを欠くと住民の反発を招き、逆効果になることがある。  
(24年度 択一)

- イ 技術  
ロ 景観  
ハ 効果  
ニ 視認性

- 422 文中の( )内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。  
記号(サイン)は、符号的な記号(①)と象徴的な記号(②)に分けられる。  
(23年度 択一)

- |        |      |
|--------|------|
| ①      | ②    |
| イ シグナル | シンボル |
| ロ シンボル | シグナル |
| ハ 文字   | 形    |
| ニ 形    | 文字   |

423 文字看板は、文字によるコミュニケーション効果を上げるものであり、その例として適切でないものはどれか。 (22年度 択一)

- イ おでん屋の赤提灯
- ロ そば屋の藍のれん
- ハ 料理屋の行灯看板
- ニ 床屋のねじれ棒

424 一般的に「社会生活を営む人間の間に行われる知覚・感情・思考の伝達」と定義されている事項として、適切なものはどれか。 (21年度 択一)

- イ 広告
- ロ 広報
- ハ コミュニケーション
- ニ 宣伝

425 文中の( )内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

(a) は、(b) と (c) の上位概念である。 (20年度 択一)

- |   | a    | b    | c     |
|---|------|------|-------|
| イ | サイン  | シグナル | シンボル  |
| ロ | シンボル | サイン  | シグナル  |
| ハ | シグナル | シンボル | サイン   |
| ニ | サイン  | シンボル | サイネージ |

426 「社会生活を営む人間の間に行われる知覚・感情・思考の伝達」と定義されている事項は、どれか。 (19年度 択一)

- イ 広告
- ロ 広報
- ハ コミュニケーション
- ニ 宣伝

### 【デザインの基礎】

427 垂直方向の線は、同じ長さの水平方向の線より長く見える。 (24年度 真偽)

428 デザインは、人間の3つの基本的な営みである生産・コミュニケーション・環境形成に対応する、プロダクト・デザイン、ビジュアル・コミュニケーション及び環境デザインに大別される。 (22年度 真偽)

429 長さが同じ場合、一般に、垂直方向の線は、水平方向の線よりも長く見える。 (21年度 真偽)

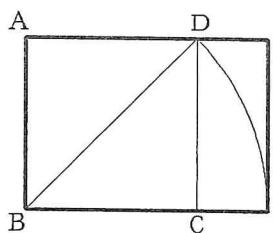
430 大円から小円へ順次配列された構図は、一つの方向性を示すが、その反対は方向性を示さない。 (20年度 真偽)

431 三角形は、三辺の長さの差が大きくなるほど、形としての方向性は弱くなる。 (19年度 真偽)

432 デザインの構成単位となるグリッドは、「格子・網目」を意味する英語である。 (19年度 真偽)

433 図形は、その図形が持っている方向要素を重視して構成しなければならない。 (18年度 真偽)

434 下図は矩形の作図を示したものであるが、太線部分の矩形の名称として、正しいものはどれか。ただし、四辺形 A B C D は正方形である。(24年度 択一)



- イ 黄金比矩形
- ロ  $\sqrt{5}$  矩形
- ハ  $\sqrt{3}$  矩形
- ニ  $\sqrt{2}$  矩形

435 錯視に関する記述として、適切でないものはどれか。(23年度 択一)

- イ S字形は、下部より上部が大きく見える。
- ロ 正方形はわずかだが、横長に見える。
- ハ 正方形を上下に2等分したとき、上方が大きく見える。
- ニ 半円を交互につないだ曲線は滑らかさに欠け、ぎこちなく見える。

436 文中の( )内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

( )とは、左右の形態が全く対称であったり、同じ形態が放射状にレイアウトされたりしている場合をいう。(23年度 択一)

- イ コントラスト
- ロ ダイナミック
- ハ シンメトリー
- ニ プロポーション

437 形の見え方に関する記述で、誤っているものは、次のどれか。(22年度 択一)

- イ 平行でない2本の線に挟まれた、大きさの等しい2つの点は、線の間隔の狭いところにあるほうが、小さく見える。
- ロ 大きさが等しくない2点では、視線はまず大に集まり、小に移動する。
- ハ 視覚的に等しい力を持つ点が3つ存在すると、3点の内側に面を感じさせる場合が多くなる。
- ニ 視覚的に等しい力を持つ点が2つ存在すると、視点は2点間の往復を繰り返し、線を感じさせる。

438 文中の( )内に当てはまる数字の組合せとして、正しいものはどれか。

B3判規格寸法の紙の長辺は、B1判の長辺の(a)分の1、短辺は、B1判の短辺の(b)分の1になり、面積ではもとの(c)分の1となる。

(20年度 択一)

	a	b	c
イ	2	2	4
ロ	2	4	4
ハ	4	2	8
ニ	4	4	16

439 レイアウトを考える上でのバランスに関する記述として、適切でないものはどれか。 (18年度 択一)

- イ 配色の強弱によってバランスが保たれる。
- ロ 左右対称の配置は、バランスが保たれる。
- ハ 重い形態を上部に配置すると安定する。
- ニ 大きな形態を中心に近づけるほど安定する。

440 レイアウトの発想には、必要な構成要素の位置と方向を定めることから始まるが、これに関して下図と関係するものはどれか。 (18年度 択一)



- イ 垂直と水平の関係
- ロ 多焦点の構成
- ハ 中心と求心・放射の構成
- ニ 対角線の構成

441 文中の( )内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

( )とは、左右の形態が全く対称であったり、同じ形態が放射状にレイアウトされたりしている場合をいう。 (18年度 択一)

- イ コントラスト
- ロ ダイナミック
- ハ シンメトリー
- ニ プロポーション

### 【広告デザイン】

442 ローマ字書体のギャラモンはモダンローマン、ボドニはオールドローマンである。 (24年度 真偽)

443 サインの表示では、一般に、明朝体はゴシック体よりも視認性が高い。 (24年度 真偽)

444 交通標識や安全標識には、機能的な配色が決められている。 (24年度 真偽)

445 ロゴタイプには、合成文字、複数の文字を組み合わせてマークにしたもの、社名や製品名を特定のスタイルで表現したレタリング等がある。 (23年度 真偽)

446 ローマ字書体のギャラモンはモダンローマン、ボドニはオールドローマンである。 (22年度 真偽)

447 ローマン体のスペーシングは、セリフ間の距離を均一にするとよい。 (22年度 真偽)

448 ロゴタイプには、文字を個性化してイメージを強く表現するものもある。 (21年度 真偽)

449 ピクトグラムは、都市環境での一瞬の判断や行動を起こさせるのに、機能的な役割を果たすサインである。 (21年度 真偽)

450 ピクトグラムは、抽象的な内容や複雑な意味内容を表現するのに適していない。 (20年度 真偽)

451 ローマ字書体の斜体は、一般にアメリカンタイプと呼ばれている。 (20年度 真偽)

452 日本工業規格（JIS）によれば、安全標識は機能的な配色が決められている。 (20年度 真偽)

453 ローマ字書体のフツラは、モダンローマン体である。 (18年度 真偽)

454 下図は欧文書体の部分であるが、サンセリフはどれか。 (24年度 択一)



455 ローマ字のレタリングにおける、スペーシングとはどれか。 (23年度 択一)

- イ 文の各行の間の調節
- ロ 語句と語句との間の調節
- ハ 1字1字の間の調節
- ニ 隣り合うセリフ間の調節

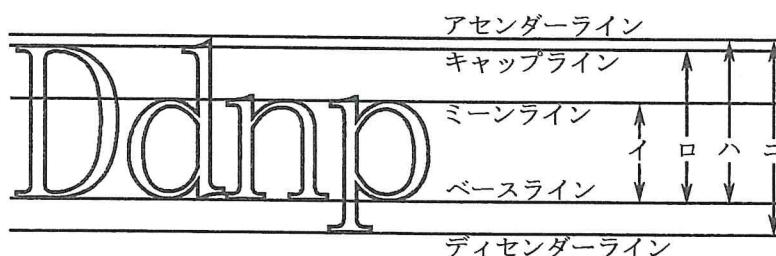
456 アイドマ(A I D M A)の意味の正しい語順はどれか。 (22年度 択一)

- イ 注意 関心 欲求 記憶 行動
- ロ 注意 記憶 関心 欲求 行動
- ハ 欲求 関心 記憶 注意 行動
- ニ 関心 記憶 注意 欲求 行動

457 ロゴタイプに関する記述として、誤っているものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 企業姿勢や商品イメージを視覚的に伝える。
- ロ ロゴマークとして、シンボルマークの機能を持つものもある。
- ハ 企業や組織のC I (コーポレートアイデンティティ)では、シンボルマークほど重視されない。
- ニ いくつかの文字を一体化した「合成活字」の意味がある

458 ローマ字の級数を表すのは、どの幅か。 (21年度 択一)



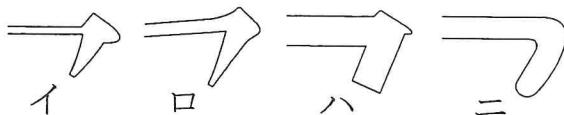
459 サンセリフ書体「ユニバース」はどれか。 (21年度 択一)



460 広告物の文字を美しく読みやすいものとする条件として、適切でないものはどれか。 (21年度 択一)

- イ 文字の大きさと視距離との関係を基準に従って考慮する。
- ロ 書体は基本である正体を使用すれば、大きさは無関係である。
- ハ 彩度差や反対色などの色差を調和あるものとする。
- ニ 文字構成の要素間バランスを保つ。

461 下図の文字点画のうち、宋朝体はどれか。 (20年度 択一)



462 ロゴタイプについての記述として、誤っているものはどれか。 (19年度 択一)

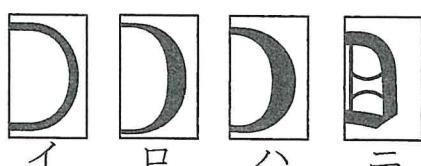
- イ 企業や組織等の指定書体
- ロ 商品やサービスを視覚化した書体
- ハ 多様性を目的とした一つのフォント
- ニ 組合せ活字

463 文中の( )内に当てはまる語句として、最も適切なものはどれか。

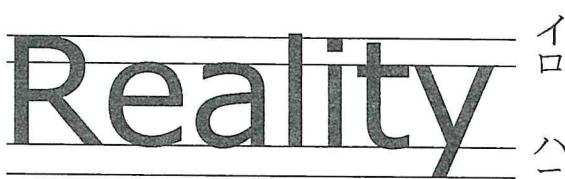
- 経済性、( )、機能性が、屋外広告物のデザインの基本である。  
(19年度 択一)

- イ 誘目性
- ロ 環境調和性
- ハ 新奇性
- ニ 話題性

464 下図は、ローマ字書体の部分であるが、モダンローマンはどれか。 (18年度 択一)



465 ローマ字のシステムで、ミーンラインと呼ばれるものはどれか。 (18年度 択一)



### 【色 彩】

466 物体の色は、照明が変わっても常に同じ色に見える。 (24年度 真偽)

467 赤く見える物体は、7色の光のスペクトルのうち、赤色を吸収している。 (24年度 真偽)

468 下記のマンセル記号において5Rは明度を示している。

5 R 3.6/5.3 (23年度 真偽)

469 補色関係にある色の配色は、一般に、目立つ配色である。 (23年度 真偽)

470 色光の波長を長い順に並べると、青紫、青、緑、黄、橙赤、赤、赤紫となる。 (23年度 真偽)

471 進出とか後退の視覚現象は、色彩のもつ特性ではない。 (22年度 真偽)

472 物体色は、照明が変わると同じ色には見えない。 (22年度 真偽)

473 色相は、有彩色が持つ属性の一つである。 (22年度 真偽)

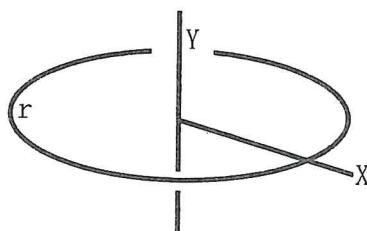
474 パソコン画面から取り出される画像はR、G、Bの三原色でプリントアウトされる。 (21年度 真偽)

- 475 物体の色は、照明が変わっても常に同じ色に見える。 (21年度 真偽)
- 476 マンセル記号による色表示において、5G6/5は緑の系統の色を表している。 (20年度 真偽)
- 477 公共サインのシンボルカラーとして広く使われている「緑は入口」、「黄色は出口」という慣習は、信号灯の色光に準拠して決められたものである。 (19年度 真偽)
- 478 全ての素材色は、色の三属性である色相・明度・彩度によって表記することができる。 (18年度 真偽)
- 479 マンセル記号による色表示のうち、青の系統の色を表しているのはどれか。 (24年度 択一)
- イ 5P6/5  
 ロ 5B6/5  
 ハ 5R6/5  
 ニ 5Y6/5
- 480 「5R4/10」は、マンセル記号による色の表記である。正しい組合せはどれか。  
 ただし、5Rは(a)、4は(b)、10は(c)を表している。  
 (24年度 択一)

(a) (b) (c)

- |       |     |     |
|-------|-----|-----|
| イ 朱赤  | 中明度 | 中彩度 |
| ロ 赤   | 中明度 | 高彩度 |
| ハ 濃い赤 | 低明度 | 低彩度 |
| ニ 紫系赤 | 高明度 | 高彩度 |

- 481 下図のマンセル色立体の概念図において、X・Y・rに当てはまる語句の組合せとして適切なものはどれか。 (23年度 択一)



- |      |    |    |
|------|----|----|
| X    | Y  | r  |
| イ 彩度 | 明度 | 色相 |
| ロ 明度 | 色相 | 彩度 |
| ハ 色相 | 彩度 | 明度 |
| ニ 明度 | 彩度 | 色相 |

- 482 色彩の概念に関して、( )内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。 (23年  
度 択一)

原色 - (1) - 無彩色

暖色 - (2) - 寒色

- |       |     |
|-------|-----|
| ①     | ②   |
| イ 中性色 | 中間色 |
| ロ 中性色 | 後退色 |
| ハ 中間色 | 進出色 |
| ニ 中間色 | 中性色 |

483 補色に関する記述のうち、正しいものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 補色とは、反対色のことである。
- ロ 補色とは、ある色を補い引き立たせる色を指す。
- ハ 補色とは、同系色2色のうち明度の低い色をいう。
- ニ 補色は、色相環の中に一組しか存在しない。

484 文中の( )内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

印刷インクは、染料、顔料、樹脂などを主材とする色料で、三原色は(A)、イエロー、(B)の3色である。

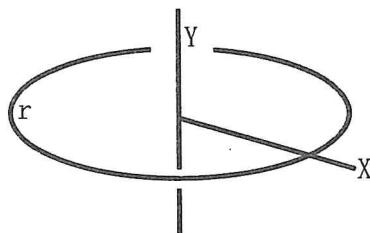
(21年度 択一)

	A	B
イ	マゼンタ	シアン
ロ	マゼンタ	ブルー
ハ	レッド	シアン
ニ	レッド	グリーン

485 色の三属性に関する記述のうち、正しいものはどれか。 (20年度 択一)

- イ 暖色－中性色－寒色の関係をいう。
- ロ 原色－中間色－無彩色の関係をいう。
- ハ 色の種類、明るさ、鮮やかさをいう。
- ニ 前進色－収縮色－後退色の関係をいう。

486 下図のマンセル色立体の概念図において、X・Y・rに当てはまる語句の組合せとして適切なものはどれか。 (19年度 択一)



	X	Y	r
イ	彩度	明度	色相
ロ	明度	色相	彩度
ハ	色相	彩度	明度
ニ	明度	彩度	色相

487 文中の( )内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

日中の快晴下、北に面した広告板は、( )みがかつて見える。  
(19年度 択一)

- イ 青
- ロ 赤
- ハ 黄
- ニ だいだい

488 マンセル記号による色表示のうち、濃い緑の系統の色を表しているのはどれか。 (18年度 択一)

- イ 5G6/5
- ロ 5B6/5
- ハ 5R6/5
- ニ 5Y6/5

## 【美観風致】

- 489 屋外広告物は、街の個性を創り出す大きな要素である。 (23年度 真偽)
- 490 屋外広告物は、機能性、審美性及び経済性の基本的な条件を考慮して製作するとよい。 (21年度 真偽)
- 491 屋外広告物と自然環境との調和は、広告物に自然素材を使うことによって得られる。 (19年度 真偽)
- 492 文中の( )内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

都市の景観は、建築物・道路・広告物などの( )と、これらを取りまく山・川・海などの自然及び都市が立地する気候帯や地理上の位置などによって作り出される目に見える風景の総体である。  
(24年度 択一)

- イ 状況  
ロ 生産性  
ハ 人工的要素  
ニ 自然景観

- 493 文中の( )内に当てはまる語句として、最も適切なものはどれか。

景観は、人間を取り巻く( )のことである。 (23年度 択一)

- イ 自然  
ロ 文化  
ハ 環境  
ニ 人工物

- 494 景観との関係によって得られる屋外広告の効果として、最も適切な説明はどれか。 (22年度 択一)

- イ 地域の特性を生かした共感できる広告物による街づくり効果  
ロ 周辺環境の中で、より目立つ色彩による広告の印象効果  
ハ マスメディア広告との連合による、より大きな広告物の視覚効果  
ニ 同一の広告物を多量に配置することによる広告の相乗効果

- 495 景観の定義について、文中の( )内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

景観とは、(a) をとりまく環境の(b) にほかならない。  
(20年度 択一)

- |   | a  | b   |
|---|----|-----|
| イ | 空間 | 構造  |
| ロ | 人間 | ながめ |
| ハ | 社会 | 美観  |
| ニ | 個人 | 風致  |

- 496 文中の( )内に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

景観は人間が( )への対しかたに立脚しており、人間と( )の関わりを理解する有力な現象である。

(19年度 択一)

- イ 自然  
ロ 文化  
ハ 環境  
ニ 人工物

## 【関係法規】

- 497 屋外広告物は、大きさにかかわらず、工作物確認申請をする必要はない。 (24年度 真偽)
- 498 消防法関係法令によれば、給油取扱所に設けられたサインポール、看板等は難燃性の材料で作り、幕・布等は防炎処理したものを使用することとされている。 (24年度 真偽)
- 499 屋外広告物条例ガイドライン(案)によれば、公の機関が公共の目的のために表示する屋外広告物は、規制を受けない。 (23年度 真偽)
- 500 高さ4m以上の広告物を掲出する場合は、建築基準関係法令に基づき工作物確認申請が必要である。 (23年度 真偽)
- 501 粘着シート加工した屋外広告物は、大きさの大小にかかわらず、工作物確認申請の必要はない。 (22年度 真偽)
- 502 建築物の外壁又は塀等に掲げられた絵画は、その絵画の内容とこれを表示する者の事業の有無に関わりなく、一定の観念、イメージ等を伝達することを目的として、常時又は一定の期間、公衆に表示されるので、屋外広告物に該当する。 (22年度 真偽)
- 503 店舗壁面に一部文字入りアートの装飾を描いたものは、屋外広告物にあたらない。 (20年度 真偽)
- 504 サンドイッチマンも屋外広告物に含まれる。 (19年度 真偽)
- 505 屋外広告物関係法令によれば、条例に違反していても、容易に取り外すことができるはり紙は、簡易除却の対象とはならない。 (19年度 真偽)
- 506 建築基準関係法令によれば、工作物とは、広告物の高さが2mを超えたものをいう。 (18年度 真偽)
- 507 屋外広告物に該当するものはどれか。 (24年度 択一)
- イ 駅構内にあるポスター  
　ロ 野球場内の広告物  
　ハ 自動車の車内広告  
　ニ 一般地下道に貼ったポスター
- 508 屋外広告物法に定める屋外広告物掲出の制限について説明した記述として、適切なものはどれか。 (24年度 択一)
- イ 一定規模以上の市町村であれば、屋外広告物の掲出について都道府県知事の許可を受けなければならないなどの制限を設定することができる。  
　ロ 景観法が定める景観重要建造物、景観重要樹木についても、屋外広告物の表示や設置を禁止することができる。  
　ハ 掲出する屋外広告物の設置の方法の基準、維持の方法の基準については、条例で定めることはできない。  
　ニ 景観行政団体が条例を定める場合、景観計画に屋外広告物の表示や掲出物件の設置に関する行為の制限があっても、条例は景観計画とは関係なく定めることができる。
- 509 文中の( )内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。
- 労働安全衛生関係法令によれば、事業者は、高さ5m以上の構造の足場の組立て・解体作業等、労働災害を防止するための管理を必要とする一定の作業については、( )のうちから作業主任者を選任し、その者に当該作業に従事する労働者の指揮を行わせなければならない。 (24年度 択一)
- イ 都道府県知事が指定する者  
　ロ 市町村長の免許を受けた者  
　ハ 厚生労働大臣の指定を受けた者  
　ニ 都道府県労働基準局長の免許を受けた者

- 510 屋外広告物に該当しないものはどれか。 (23年度 択一)
- イ 自動車の窓ガラスの内側に、表示面を外へ向けて貼り付けたはり紙やステッカー等の広告物
  - ロ 一般公共用の地下道や地下街に表示される広告物
  - ハ 建築物の外壁等に光を投影することによって表示される広告
  - ニ 建築物の外側等における絵画又は写真的表示
- 511 条例に明らかに違反して表示され、管理されずに放置されていることが明らかな広告物のうち、都道府県知事が公告しなければ除却できないものはどれか。 (23年度 択一)
- イ はり紙、はり札とこれに類する広告物
  - ロ 広告旗
  - ハ 立看板とこれに類する広告物
  - ニ 広告幕
- 512 労働安全衛生法関係法令に関する記述中の、( )内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。  
事業者は、クレーンの運転その他の業務で、政令で定めるものについては、都道府県労働局長の当該業務に係る免許を受けた者、又は都道府県労働局長の登録を受けた者が行う当該業務に係る( )を修了した者、その他厚生労働省令で定める資格を有する者でなければ、当該業務に就かせてはならない。  
(23年度 択一)
- イ 作業主任者講習
  - ロ 技能講習
  - ハ 指導員講習
  - ニ 安全講習
- 513 文中の( )内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。
- 労働安全衛生関係法令によれば、高さ又は深さが( )を超える箇所で作業を行うときは、当該作業に従事する労働者が安全に昇降するための設備等を設けなければならない。 (23年度 択一)
- イ 3 m
  - ロ 2 m
  - ハ 1. 8m
  - ニ 1. 5m
- 514 屋外広告業を営む者は、屋外広告物講習会修了者又は一定の資格者を置かなければならぬが、該当する資格として、誤っているものはどれか。 (22年度 択一)
- イ 屋外広告士
  - ロ 広告美術仕上げ技能士
  - ハ 屋外広告の実務経験2年以上の者
  - ニ 他の都道府県又は指定都市の行う講習会修了者
- 515 屋外広告物法の目的に関する記述中の下線のうち、誤っているものはどれか。
- 良質な屋外広告物は、良好な景観を形成していくために重要な役割を果たすとの考えから、新たに(イ 良好的な景観の形成)を目的に設け、(ロ 屋外広告業)についても(ハ 必要な規則の基準)を定めることができることとし、(ニ 屋外広告業の届出制)の実施が可能となった。  
(22年度 択一)

516 屋外広告物に当てはまらないものはどれか。 (21年度 択一)

- イ 交通機関の乗客に対して車両内に表示された交通広告
- ロ 自動車の車体に表示された広告
- ハ 工事現場の仮囲いに表示された広告
- ニ アドバルーン

517 屋外広告を構成する要素のうち、都道府県の定める屋外広告物条例で規制されないものはどれか。 (21年度 択一)

- イ 広告物が表示する内容
- ロ 広告物に使用される地色
- ハ 広告物の寸法・面積
- ニ 広告物の設置場所

518 屋外広告物には様々な形態があるが、屋外広告に属さないものはどれか。 (20年度 択一)

- イ ビルボード
- ロ リーフレット
- ハ アウト・オブ・ホーム・メディア(OOH)
- ニ ラッピング・バス

519 文中の( )内に当てはまる、正しい語句はどれか。

( )は、条例ごとに屋外広告物規制があまりにも異なった内容とならないよう、規制を受ける側、規制を行う側双方の便宜のために定められ、現在では条例を制定・改正する際の参考資料として位置づけられている。

(20年度 択一)

- イ 屋外広告物条例ガイドライン(案)
- ロ 屋外広告物法
- ハ 屋外広告物法施行規則
- ニ 地方自治法

520 屋外広告物に含まれない広告メディアはどれか。 (19年度 択一)

- イ アドバルーン
- ロ プラカード
- ハ スペクタキュラー
- ニ ラッピングバス

521 建築基準関係法令によれば、建築確認申請時に構造計算書の提出が義務づけられている広告物として、規定されている条件はどれか。 (19年度 択一)

- イ 高さが2mを超える広告物
- ロ 高さが4mを超える広告物
- ハ 高さが10mを超える広告物
- ニ 高さが15mを超える広告物

522 屋外広告物関係法令によれば、広告物の表示等について一定の禁止事項が定められているものうち、その目的にないものはどれか。 (19年度 択一)

- イ 良好な景観を維持するため。
- ロ 良好な風致を維持するため。
- ハ 公衆に対する危害を防止するため。
- ニ 都市の健全な発展のため。

## 【安全衛生】

- 523 労働安全衛生法関係法令によれば、最大荷重1t未満のフォークリフトの運転は、特別教育や技能講習を受けない者が行ってもよい。 (24年度 真偽)
- 524 労働安全衛生関係法令によれば、つり上げ荷重が1トン以上5トン未満の移動式クレーンを運転する場合は、小型移動式クレーン運転技能講習を修了すれば運転業務に就くことができる。 (23年度 真偽)
- 525 最大荷重1t未満のフォークリフトの運転業務は、特別教育や技能講習を受けない労働者が行ってもよい。 (22年度 真偽)
- 526 溶剤の中毒を防止するためには、防毒マスクを使用して作業すればよい。 (22年度 真偽)
- 527 労働安全衛生関係法令によれば、足場の組立て等の作業主任者が事業所に1名選任されていれば、同時に異なった作業場で足場の組立て等の作業が実施できる。 (21年度 真偽)
- 528 消防法関係法令によれば、給油取扱所に設けられたサインポール、看板等は難燃性の材料で作り、幕・布等は防炎処理したものを使用することとされている。 (20年度 真偽)
- 529 作業主任者となるためには、必ず都道府県労働局長の免許を受けなければならない。 (20年度 真偽)
- 530 労働安全衛生関係法令によれば、事業者は、一定の有害な業務に従事する労働者のみに対し、医師による健康診断を行わなければならない。 (19年度 真偽)
- 531 つり足場の上で簡単な作業を行う場合は、脚立やはしごを使用してもよい。 (19年度 真偽)
- 532 労働安全衛生法では、その企業の自主的な安全衛生活動を制度的に担保するために、労働安全衛生管理組織の設置について定めている。 (18年度 真偽)
- 533 文中の( )内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、脚立の脚と水平面との角度は、( )度以下とすることと規定されている。 (24年度 択一)

- イ 65
- ロ 70
- ハ 75
- ニ 80

- 534 移動式足場での作業中の注意点として、適切なものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 作業員を乗せたまま移動するときは、作業員は作業床に座るなどの姿勢を取らなければならない。
- ロ 定置するときは、作業床が水平になるようにして、柔らかい場所を選び、ブレーキを確実に作動させる。
- ハ 移動中は、転倒などの危険のあるところへ作業関係者以外の者を立ち入らせない。
- ニ 作業床は足場板などを用いて影ある程度の間隔を空けて敷き、また、足場板などの両端は確実に固定する。

- 535 作業場内の環境を快適に保つことは、従業員の安全や健康、効率の良い作業を継続する上で重要であるが、作業場内の環境として要求されないものはどれか。 (22年度 択一)

- イ 空気環境
- ロ 溫熱環境
- ハ 視環境
- ニ 水環境

536 文中の( )内に入る数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生関係法令によれば、脚立の脚と水平面との角度は、( )度以下とすることと規定されている。 (21年度 択一)

- イ 65
- ロ 70
- ハ 75
- ニ 80

537 文中の( )内に当てはまる語句のうち、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、5トン未満のクレーン車の操作業務をするには、最低でも( )が必要となる。 (20年度 択一)

- イ 安全のための特別の教育
- ロ クレーン・デリック運転士免許
- ハ 大型特殊免許
- ニ クレーン・デリック技能講習

538 労働安全衛生関係法令に関する記述のうち、誤っているものはどれか。 (20年度 択一)

- イ 特定の労働災害を防止するための管理者を必要とする作業については、一定の資格を有する作業主任者を選任し、その者に労働者の指揮その他の事項を行わせなければならない。
- ロ 事業者は、有害な業務を行う屋内作業場等一定のものについて必要な作業環境の測定を行い、その結果を記録しておかなければならない。
- ハ 一定の危険業務については、厚生労働大臣の免許を受けた者、又は都道府県知事等が行う技能講習を修了した者等一定の資格を有する者でなければ、当該業務に就かせてはならない。
- ニ 事業者は、労働者を雇い入れたときは、当該労働者に対し、その従事する業務に関する安全又は衛生のための教育を行わなければならない。

539 文中の( )内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生関係法令によれば、事業者は、高さが( )m以上の作業床の端、開口部等で墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのある箇所には、囲い、手すり、覆い等を設けなければならないと規定している。 (19年度 択一)

- イ 2
- ロ 2.5
- ハ 3
- ニ 3.5

540 文中の( )内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

労働安全衛生関係法令によれば、事業者は、高さ5m以上の構造の足場の組立て・解体作業等、労働災害を防止するための管理を必要とする一定の作業については、( )のうちから作業主任者を選任し、その者に当該作業に従事する労働者の指揮を行わせなければならない。  
(19年度 択一)

- イ 都道府県知事が指定する者
- ロ 市町村長の免許を受けた者
- ハ 厚生労働大臣の指定を受けた者
- ニ 都道府県労働基準局長の免許を受けた者

- ルを切断する際に使用する。
- 304 イ
- 305 ハ
- 306 ニ フッ素樹脂コーティングは耐候性、対汚染性に優れ、適度なコーティングにより重ね貼りも可能だがインク等の印刷は不可能。
- 307 イ ガラスビーズが集まっている。
- 【専門以外の仕上げ法】**
- 308 ○
- 309 ×
- 310 ×
- 311 ×
- 312 ハ
- 313 イ
- 314 イ
- 315 イ
- 316 ハ
- 317 口 ランニングソーは大型（大判）の板を直線に切断する。板を台上に固定させ、丸鋸が直線を移動する。
- 2級共通**
- 【広告物の種類及び構造】**
- 318 ○ バナー（banner）は、旗、垂れ幕、横断幕などの意味を持つ英単語。
- 319 × アドバルーンは屋外広告物条例の対象になる。
- 320 ○
- 321 ○ 社団法人全日本屋外広告業団体連合会「屋外広告ハンドブック 第2版」P80
- 322 ○
- 323 ×
- 324 ○
- 325 ×
- 326 ○ 社団法人全日本屋外広告業団体連合会発行「屋外広告ハンドブック 第2版」P78
- 327 ハ
- 328 口
- 329 口
- 330 ニ
- 331 ニ
- 【広告物の素地の製作方法】**
- 332 ○
- 333 × 木枠は強度を得るため板面に対し45mmの厚みを持つように製作する。鉄板は木枠の側面から釘で取り付けるため、角材の40mm厚の方向に對し45mmの釘を打つことになり、釘先端5mm部分が角材から突き抜けるため不適切。
- 334 ○
- 335 イ プライマーは下地調整剤。塗料と基材の付きを良くする。
- 336 口 鞣性は、物質のもつ粘り強さのこと。
- 337 ニ
- 338 ニ
- 339 口 ハンドブレーカは掘削機。
- 【広告物の製作図の作成方法】**
- 340 ○
- 341 ○
- 342 ○
- 343 × 外形線は太い実線、寸法線は細い実線で描く。
- 344 ○
- 345 ○
- 346 × ステンレス・ヘアラインのこと。
- 347 × JIS A 0150 建築製図通則の材料表示材料表示記号による。
- 348 ニ
- 349 ニ
- 350 ハ
- 351 ニ
- 352 イ
- 353 口
- 354 イ 細い破線は、かくれ線として使用する。
- 355 ニ
- 【広告物の取り付け方法】**
- 356 × コンクリート壁にあと施工アンカーをセットできるのは、小規模広

告物のみ。重量広告物は主筋または鉄骨に溶接する。

357 ○ コンクリートは温度が低いと硬化の速度が極端に遅くなる。また、凍結すると硬化力を失い、強度もでなくなる。

358 ○ 鋼材の表面に亜鉛の被膜をつくるメッキ。亜鉛と鉄との間にできた「合金層」により、亜鉛と鉄が強く結合しているため剥がれにくい。

359 ○

360 ×

361 ×

362 ○

363 ×

364 ×

365 × 地表より高くする。

366 イ インパクトレンチはボルトやナットを締めるための工具。

367 ハ 根ぎりは、基礎工事のための穴を掘ること。

368 □ インサートは、コンクリート打設前に予め埋め込んでおく金具のこと。

369 ハ

370 □

371 ニ

372 イ

373 ハ

374 □

### 【広告物の安全に関する力学の基礎】

375 × 通常風圧力は自重より大きくなるため、風圧力に耐えるように製作し取付ける。

376 ×

377 ×

378 ○

379 ○

380 ○ 屋上広告物、壁面広告物、自立広告物、高さ10m以上、未満、周囲の状況などにより異なる。

381 ○

382 ○

383 ○

384 ○

385 □

386 ハ

387 ハ

388 イ

### 【材料】

389 ○

390 ○

391 ×

392 ○

393 ×

394 ○

395 ○

396 ○

397 ×

398 ×

399 ○

400 × シンナーで拭くとフッ素コーティングを侵すため、中性洗剤を使用する。

401 ○ 低発泡PVCは、重さが硬質塩ビ板の約1/2、割れにくく、耐薬品性と加工性が良い。

402 ニ

403 ニ

404 イ シリコンは液状で、硬化剤の混入により固まる。

405 ニ

406 ハ

407 ハ

408 ニ

409 □

410 ハ ウッドシーラーは木材を塗装する際、塗料の吸込みを防ぐための下塗り剤、ゴールドサイズはゴールドリーフ(金箔)を貼る際に使用する糊。

411 □

412 □

413 □

414 ハ

415 イ

### 【機械器工具】

416 ×

417 ハ

### 【コミュニケーションとデザイン】

418 ○

419 ○

420 ○

421 □

422 イ

423 ニ

424 ハ

425 イ

426 ハ

### 【デザインの基礎】

427 ○ このような見えを垂直水平の錯視という。

428 ○

429 ○

430 ×

431 ×

432 ○

433 ○

434 ニ

435 □

436 ハ

437 イ

438 イ

439 ハ レイアウトのバランスは、シンメトリーによる上下・左右対称や、放射対称の均衡や、配色の強弱、形態の配置など、見た目の感覚的均衡が大切である。重い形態が上部にあると不安定に見える。

440 □

441 ハ

### 【広告デザイン】

442 × ギャラモン (Garamond) はオールド・ローマン体の代的な書体。

443 × ゴシック体の方が明朝体よりも読みやすいため、道路標識にもゴシック体が採用されている。

444 ○ 「JIS Z 9101 安全色及び安全標識」に規定されている禁止の赤、警告の黄など。

445 ○

446 ×

447 ×

448 ○

449 ○

450 ○

451 ×

452 ○

453 × フーツラはサンセリフ体。

454 ハ

455 ハ

456 イ

457 ハ

458 ニ

459 ハ イはフーツラ、□はベトン、ニはギル・メディウム。

460 □

461 □ イは明朝体、ハは角ゴシック体、ニは丸ゴシック体

462 ハ

463 □

464 □

465 □

### 【色彩】

466 × 照明の性能のひとつに「演色性」があり、光源の色温度に左右される。太陽光のもとで見た色の見え方に近い照明を「演色性が良い照明」という。

467 × 赤色を反射しているため、赤く見える。

468 × 5Rは色相を表す。

469 ○

470 ×

471 ×

472 ○

- 473 ○
- 474 × 画面での色彩は加法混色により RGBで再現されるが、プリントアウトの際には減法混色のYMCで再現される。
- 475 ×
- 476 ○
- 477 ×
- 478 × 蛍光色をはじめ、大部分の素材色の表記は不可能。
- 479 □
- 480 □
- 481 イ
- 482 ニ
- 483 イ
- 484 イ 印刷の三原色はYMC(イエロー、マゼンタ、シアン)である。
- 485 ハ
- 486 イ
- 487 イ
- 488 イ

### 【美観風致】

- 489 ○
- 490 ○
- 491 ×
- 492 ハ
- 493 ハ
- 494 イ
- 495 □
- 496 ハ

### 【関係法規】

- 497 × 4メートルを超える場合には、建築基準法に定める工作物に該当するため、確認新申請をする必要がある。
- 498 ○
- 499 ○
- 500 ○
- 501 ×
- 502 ○
- 503 ×

- 504 ×
- 505 × 簡易除却の対象となる。
- 506 ×
- 507 ニ
- 508 □
- 509 ニ
- 510 イ
- 511 ニ
- 512 □
- 513 ニ
- 514 ハ
- 515 ニ
- 516 イ
- 517 イ
- 518 □
- 519 イ
- 520 □
- 521 □
- 522 ニ

### 【安全衛生】

- 523 × 1t未満の場合、フォークリフト運転特別教育の受講が必要となる。
- 524 ○
- 525 × 特別教育修了証が必要。労働安全衛生法第59条第3項にもとづき、労働安全衛生規則第36条第5項に定められている。
- 526 ×
- 527 ×
- 528 ○
- 529 × 業務により、関連する免許の所持か、都道府県労働局長等が行う技能講習修了のいずれかが必要。
- 530 ×
- 531 ×
- 532 ○
- 533 ハ
- 534 ハ
- 535 ニ 空気環境(CO、CO<sub>2</sub>濃度、粉じんなど)、温熱環境(温度、湿度)、視環境(照度、色彩など)、音環境(騒

音、BGMなど) はどの産業にも共通の作業環境。(社団法人全日本屋外広告業団体連合会発行「屋外広告工事の安全作業マニュアル」)

- 536 ハ
- 537 イ
- 538 ハ
- 539 イ
- 540 ニ

## 2級ペイント

### 【専門仕上げ法】

- 541 ×
- 542 ○
- 543 ○
- 544 ○
- 545 ○
- 546 ×
- 547 ×
- 548 ○
- 549 ×
- 550 ○
- 551 × アルコールで洗う。

- 552 ○
- 553 ×
- 554 ○
- 555 ×
- 556 ハ
- 557 ハ
- 558 ハ
- 559 口
- 560 ニ 高温で乾燥も早くなるので、毛の粗い刷毛で塗ると条線が甚だしくなる。
- 561 口 強く押さえると、運動スピードが落ちる。
- 562 口
- 563 口
- 564 ニ
- 565 ニ 砲金(ブロンズ)は青銅に亜鉛と鉛を加える。

566 イ 他は塗装用と経師用の工具。

567 イ

568 口

### 【専門以外の仕上げ法】

- 569 ×
- 570 ○
- 571 ○
- 572 ×
- 573 ○
- 574 × 低発泡で表面が平滑ではなく、粘着シートの接着強度は低く、粘着シート貼加工には向かない。
- 575 ×
- 576 口
- 577 イ
- 578 イ
- 579 ニ
- 580 口 汚れ、油膜をふきとり、白さびをとる。
- 581 ハ
- 582 イ

## 2級シート

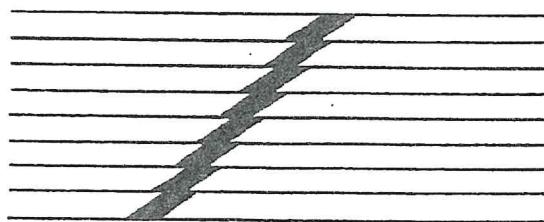
### 【専門仕上げ法】

- 583 × シートを剥がす際に使用する。
- 584 ○
- 585 ○
- 586 × 水を抜くまでは貼り付きにくくなり、位置決めが容易に行えるため。
- 587 ○
- 588 ○
- 589 ×
- 590 ×
- 591 ○
- 592 ○
- 593 ×
- 594 ○
- 595 ○
- 596 ○
- 597 ×
- 598 ×

## 2級問題 シート

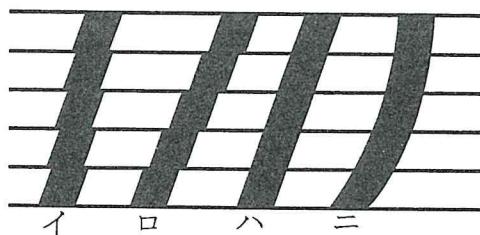
## 【専門仕上げ法】

- 583 粘着シートのスクレーパは、特殊な効果を出すのに使用される工具である。 (24年度 真偽)
- 584 粘着シートをはがした後、少しのりが残った場合は、よくしぼったウエスでこするようにして取る。 (24年度 真偽)
- 585 粘着シートは、多種少量生産というディスプレイのニーズに適した材料である。 (24年度 真偽)
- 586 粘着シートを貼るときに水を使うのは、のりを溶かして柔らかくするためである。 (24年度 真偽)
- 587 塩化ビニルとポリエステルの粘着シートに、シルクスクリーンプロセスをする場合には、それぞれの物性に合ったインクを使用する。 (24年度 真偽)
- 588 粘着シートのなかには、テント地のような綿布に対しても十分な接着強度を持ったものがある。 (22年度 真偽)
- 589 粘着シートには、スクリーンプロセス印刷はできない。 (22年度 真偽)
- 590 道路標識によく使われている反射シートには、蛍光顔料が使われている。 (22年度 真偽)
- 591 寒いときに粘着シートの初期粘着力が悪くなるのは、のりが硬化するためである。 (22年度 真偽)
- 592 文字の貼り込み作業で、被着体への接着力が弱いときは、粘着力の弱い転着シートを使うと作業しやすい。 (21年度 真偽)
- 593 一般に市販されている粘着シートの粘着力は、気温等の外的条件に影響されることはない。 (21年度 真偽)
- 594 粘着シートの小さな文字やパターンは、水を使わないほうが貼りやすい。 (21年度 真偽)
- 595 粘着シートに文字原稿をテープで止めてもよいが、複雑な文字を抜く場合は、ペーパーセメントを用いたほうがよい。 (21年度 真偽)
- 596 中性洗剤は、プラスチック板の洗浄に有効であるとともに、帯電防止の効果もある。 (21年度 真偽)
- 597 シートや被着体に水をつけるとき、中性洗剤を入れると貼り易くなるのは、霧の粒子が被着体に親水性を持たせ流れやすくするためである。 (20年度 真偽)
- 598 下図は凹凸の大きいシャッターに粘着シートを貼る場合に、修正をせずに斜めの線を貼ったものである。 (20年度 真偽)



- 599 比較的ゆるやかな三次曲面に粘着シートを貼るときは、シートをよく冷やしてから貼ると容易である。 (20年度 真偽)

- 600 ポリエスチル系の堅いシートの大きい字を貼る場合、角を少し丸く切ると剥がれにくい。  
(20年度 真偽)
- 601 印刷と型抜きが連続した工程でできるシール印刷機は、多色刷りできるものもある。 (19年度 真偽)
- 602 粘着シート貼り込み作業で、突き合わせ切りとは、つなぎ合わせるそれぞれのシートを正確にカットしてから、突き合わせて貼り込む作業である。 (19年度 真偽)
- 603 粘着シートをポリカーボネート樹脂に貼ると気泡が生じることがある。 (19年度 真偽)
- 604 粘着シートの色は、一般に、マンセル記号で表されている。 (18年度 真偽)
- 605 粘着シートは、一般に、彩度が高いほど退色しやすい。 (18年度 真偽)
- 606 大きなガラス全面に粘着シートを貼る場合は、エッジよりも1～2mm大きめにしてガラスコーナー材(ゴムパッキン、コーキングなど)に覆って貼ると、剥がれにくくなる。 (18年度 真偽)
- 607 水を使わない粘着シートの貼込みでは、初期粘着強度と48時間後の粘着強度は同一である。 (18年度 真偽)
- 608 コンピュータ制御によるカッティングは、ロゴタイプやシンボルマークを多様に展開するのに適している。 (18年度 真偽)
- 609 粘着シートの色名は、どの方法で表されているか。 (24年度 択一)
- イ オストワルド表色法  
ロ 日本工業規格 (JIS)  
ハ 製造メーカー独自の名称  
ニ 國際標準の色名とその和訳名
- 610 転着シートには色々な特徴を持ったタイプがあるが、作業内容と転着シートの選び方として、誤っているものはどれか。 (24年度 択一)
- イ 文字を水貼りするときには、粘着力の弱い転着シートが使いやすい。  
ロ シャッターなどの凹凸のある被着体に広い面積のシートを貼るときは、粘着シートの腰を強くする和紙タイプが使いやすい。  
ハ 小さい文字を水を使わずに貼るときは、透明タイプで粘着力の強いほうが使いやすい。  
ニ 細いラインを水貼りするときには、粘着力の強い転着シートが使いやすい。
- 611 凹凸の大きいシャッターに、修正せずに斜めのラインを粘着シート貼りすると、どのように仕上がるか。 (24年度 択一)



- 612 粘着シートとの接着強度が最も大きい被着体はどれか。 (24年度 択一)
- イ カラー鉄板  
ロ 塩化ビニル板  
ハ ガラス板  
ニ ステンレス板

- 613 粘着シートの加工法に関する記述として、正しいものはどれか。 (24年度 択一)
- イ 箱文字に屋外広告用粘着シートを貼る場合、側面(立ち上がり)部分は最初に貼るとよい。  
ロ 粘着シートの手切り加工が一番簡単にできる書体はサンセリフである。  
ハ 粘着シートの細字を貼る場合は、洗剤入りの水を多量に使用すると貼りやすい。  
ニ カッティングマシンは粘着シートを重ね切りするのに最適である。
- 614 コンピュータ・カッティングマシンにおいて粘着シートをカッティングする機器は、次のどれか。 (23年度 択一)
- イ スキャナ  
ロ デジタイザ  
ハ プロッタ  
ニ キーボード
- 615 文中の( )内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。
- ガラス面への粘着シートの貼り込み作業において、水を使う理由は、(①)をしやすくするためと、(②)が残らないようにするためである。  
(23年度 択一)
- |           |    |
|-----------|----|
| ①         | ②  |
| イ 共同作業    | しわ |
| ロ 位置の確定   | 気泡 |
| ハ 作業の合理化  | 疲労 |
| ニ シートの取扱い | ごみ |
- 616 白色の屋外用粘着シートの裏面が、銀色又は灰色をしているものの説明として、正しいものはどれか。 (23年度 択一)
- イ フィルムの強度を増すため  
ロ 接着力を高めるため  
ハ 表面を汚れにくくするため  
ニ 下地色の「すけ」を防ぐため
- 617 粘着シートを手切りする場合、最も作業しやすい書体はどれか。 (23年度 択一)
- イ 明朝体  
ロ 丸ゴシック体  
ハ 角ゴシック体  
ニ 楷書体
- 618 ガラスに貼られている粘着シートの剥離作業の説明として、誤っているものはどれか。 (22年度 択一)
- イ 大きな面積の粘着シートを剥がすときは、帯状に切れ目を入れると作業しやすい。  
ロ 寒い時期には、適度に温めると作業しやすい。  
ハ 専用工具であるスクレーパを用いると機能的である。  
ニ 小さな文字は、サンドペーパーで擦るとのりが延びなくて作業がしやすい。
- 619 粘着シート施工において転着シートを使用する目的として、誤っているものはどれか。 (22年度 択一)
- イ 貼り込みのとき、粘着シート表面に傷つきにくくする。  
ロ 文字のレイアウトを崩さずに転着する。  
ハ 切り抜き後、貼り込みまでの間、製品を保護する。  
ニ 転着シートを用いると、何度も貼り直しができる。

620 軽量で、温度変化に強く、熱膨張の少ない材料はどれか。 (22年度 択一)

- イ プラスチック板
- ロ アルミニウム複合板
- ハ ガラス板
- ニ 鉄板

621 粘着シートとの接着力が最も弱い被着体はどれか。 (22年度 択一)

- イ 合板
- ロ 鉄板
- ハ アクリル板
- ニ 塩化ビニル板

622 文中の( )内に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

(a) 洗剤は、プラスチック板の洗浄に最適であるとともに、(b) 防止の効果もある。  
(22年度 択一)

- |         |    |
|---------|----|
| a       | b  |
| イ 中性    | 帯電 |
| ロ アルカリ性 | 腐食 |
| ハ 酸性    | 劣化 |
| ニ 中性    | 腐食 |

623 粘着シートの色名は、どの方法で表されているか。 (21年度 択一)

- イ オストワルド表色法
- ロ JIS規格
- ハ 製造メーカー独自の名称
- ニ 國際標準の色名とその和訳名

624 車の前席のサイドウィンドウに着色フィルムを貼る場合、可視光線透過率は、何%以上でなければならないか。 (21年度 択一)

- イ 10%
- ロ 30%
- ハ 50%
- ニ 70%

625 粘着シート手切り加工が一番簡単にできる書体はどれか。 (20年度 択一)

- イ オールドローマン
- ロ モダンローマン
- ハ スクリプト
- ニ サンセリフ

626 壁装用粘着シートの施工に関する記述として、誤っているものはどれか。 (20年度 択一)

- イ 下地素材とパテの密着が不十分の場合は、シーラー処理を前もって行う。
- ロ 仕上げ用パテは、下地とできるだけ色を合わせる。
- ハ 下地調整の最後にプライマーを塗る。
- ニ 十分な下地処理をした後、水を使って貼りこむ。

627 粘着シートの貼り込みに、使用されない工具はどれか。 (19年度 択一)

- イ ドライヤ
- ロ ローラブラシ
- ハ ゴムローラ
- ニ スキージ

- 628 次のうち、一般に使用されている屋外用粘着シートの厚みはどれか。 (19年度 択一)
- イ 10~50ミクロン  
ロ 50~100ミクロン  
ハ 100~200ミクロン  
ニ 200~300ミクロン
- 629 ガラスに粘着シートの貼込作業をするとき、エッジから1~2mm内側でカットしたほうが良いという理由として、誤っているものはどれか。 (19年度 択一)
- イ 周囲をカットするとき、コーティング・ゴムパッキンを切ってしまうのを防ぐため。  
ロ 周囲のコーティング・ゴムパッキンによって、シートの剥がれを防ぐため。  
ハ ガラスの割れる可能性を少なくするため。  
ニ 残った水が抜けやすくなるため。
- 630 粘着シートを糸のこ盤を使用して文字・図柄を数をまとめて切る場合、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)
- イ 上下にベニヤ板を当てる。  
ロ シートだけを重ねて切る。  
ハ 切り口の接着防止のろう紙を添える。  
ニ プラスチック用の歯数の少ない糸のこ歯を使用する。
- 631 粘着シートを円に切るために使用する工具として、適切でないものはどれか。 (18年度 択一)
- イ テンプレート  
ロ ビームコンパス  
ハ サークルカッタ  
ニ スリッター
- 632 寒冷地での粘着シート作業として、適切でないものはどれか。 (18年度 択一)
- イ 貼り込みは、水を使わないほうが良い。  
ロ ドライヤで温めながら貼り込む。  
ハ 剥離作業は、ドライヤで温めながら剥がす。  
ニ 剥離作業は、細かく升目に切って、1枚ずつ剥がす。
- 633 粘着シートの手切り加工において、最も加工しやすい書体はどれか。 (18年度 択一)
- イ 明朝体  
ロ 丸ゴシック体  
ハ 角ゴシック体  
ニ 楷書体

### 【専門以外の仕上げ法】

- 634 塩化ビニル板は、溶接加工ができない。 (22年度 真偽)
- 635 塩化ビニル板は、溶接加工ができる。 (19年度 真偽)
- 636 水は、塗料の希釈剤として使用されることはない。 (18年度 真偽)
- 637 ローラブラシは、細かいところを塗るのに適している。 (18年度 真偽)
- 638 合板素地調整に使用しない工具は、次のどれか。 (23年度 択一)
- イ サンドペーパー  
ロ ダスターブラシ  
ハ スクレーパー<sup>バ</sup>  
ニ パテベラ

639 水性インクジェットプリンタのベース(素材)として、使われていないものはどれか。 (20年度 択一)

- イ テトロン
- ロ 塩化ビニル
- ハ 合成紙
- ニ ペット(ポリエチレンテレステラート)

640 アルミニウム複合板に関する記述として、誤っているものはどれか。 (19年度 択一)

- イ 取付け施工が容易である。
- ロ 広告板素材に適している。
- ハ 粘着シート加工が容易である。
- ニ ジグソーで真直ぐきれいに切断ができる。

音、BGMなど)はどの産業にも共通の作業環境。(社団法人全日本屋外広告業団体連合会発行「屋外広告工事の安全作業マニュアル」)

536 ハ

537 イ

538 ハ

539 イ

540 ニ

## 2級ペイント

### 【専門仕上げ法】

541 ×

542 ○

543 ○

544 ○

545 ○

546 ×

547 ×

548 ○

549 ×

550 ○

551 × アルコールで洗う。

552 ○

553 ×

554 ○

555 ×

556 ハ

557 ハ

558 ハ

559 口

560 ニ 高温で乾燥も早くなるので、毛の粗い刷毛で塗ると条線が甚だしくなる。

561 口 強く押さえると、運動スピードが落ちる。

562 口

563 口

564 ニ

565 ニ 砲金(ブロンズ)は青銅に亜鉛と鉛を加える。

566 イ 他は塗装用と経師用の工具。

567 イ

568 口

### 【専門以外の仕上げ法】

569 ×

570 ○

571 ○

572 ×

573 ○

574 × 低発泡で表面が平滑ではなく、粘着シートの接着強度は低く、粘着シート貼加工には向かない。

575 ×

576 口

577 イ

578 イ

579 ニ

580 口 汚れ、油膜をふきとり、白さびをとる。

581 ハ

582 イ

## 2級シート

### 【専門仕上げ法】

583 × シートを剥がす際に使用する。

584 ○

585 ○

586 × 水を抜くまでは貼り付きにくくなり、位置決めが容易に行えるため。

587 ○

588 ○

589 ×

590 ×

591 ○

592 ○

593 ×

594 ○

595 ○

596 ○

597 ×

598 ×

599	×	636	×
600	○	637	×
601	○	638	ハ
602	×	639	イ テトロンは主にスクリーン印刷に 使用される繊維。
603	○	640	ニ
604	×		
605	○		
606	×		
607	×		
608	○	641	○
609	ハ	642	×
610	ニ	643	×
611	口	644	×
612	口	645	○
613	口	646	○
614	ハ	647	○
615	口	648	×
616	ニ	649	×
617	ハ	650	× 交通広告はバス・電車等の交通機 関の乗客に向けて表示される広告 物のこと。
618	ニ 細かく切れ目を入れると作業しに くい。	651	×
619	ニ		
620	口		
621	イ	652	×
622	イ	653	○
623	ハ	654	×
624	ニ	655	○
625	ニ	656	×
626	ニ	657	○
627	口	658	×
628	口	659	○ トラスは三角形を単位として組ま れた部材の構造形式で、外力に対 する耐久性が高く、形が崩れにく い特性がある。
629	ハ	660	×
630	口	661	×
631	ニ		
632	ニ		
633	ハ		

#### 【専門以外の仕上げ法】

- 634 × 熱風溶接法で可能。  
635 ○

#### 【広告物の製作図の作成方法】

- 662 ×  
663 ○  
664 ○  
665 ×